

ASEAN、二輪生産能力は2,000万台に到達、今後

二輪車

ASEAN における二輪車の生産拠点では、域内最大市場であるインドネシアや輸出拠点化が進むベトナムを中心として、各社が能力増強を続けており、2015年9月時点で、ASEAN 全体の二輪車生産能力は2,000万台規模に達していると見られる。

域内全体で年産1,100万台体制を整えた最大手ホン

ダは、地産地消の体制をベースとしながらも、輸出の強化を加速している。また、スズキは、2015年6月発表の新中期経営計画(2015~2019年度)で、ASEAN 域内の生産拠点を集約して事業基盤を強化する方針を打ち出した。今後、域内最適化を目的とした、二輪各社の生産体制の再編が進む可能性がある。

【ASEAN、主要二輪車メーカーの生産拠点の概要】

国	メーカー	現地製造会社 [略称]	稼働 (設立)	工場(所在地)	主な生産品目	生産能力	備考・動向
インドネシア	ホンダ	Astra Honda Motor [AHJ]	1971年	第1工場 (Jakarta 市 Sunter)	Revo, Blade SupraX, SupraX Helm-in, BeAT	100万台	カブタイプとスクータータイプを生産。従業員数は第4工場まで含めて2.2万人(2014年10月時点)。
			1996年	第2工場 (Jakarta 市 Kelapa Gading)	Revo, Blade, Verza, MegaPro, CB150R, CBR150R	100万台	カブタイプとスポーツタイプを生産。
			2005年	第3工場 (Bekasi 県 Cikarang)	Spacy, Scoopy, BeAT, Vario110, Vario125	220万台	スクータータイプを生産。2015年5月、BeAT eSP のフィリピン向け輸出を開始(2015年に3万台、2016年に5万台を計画)。
			2014年 5月	第4工場 (Karawang 県 Bukit Indah 工業団地)	Vario125, BeAT	110万台 →160万台 (2015年末)	スクータータイプを生産。投資額は3兆1,280億ルピア。2015年末までにスポーツタイプ専用ライン(50万台分)を追加稼働する予定で、このための追加投資は1.9兆ルピアを計画。
	ヤマハ	Yamaha Indonesia Motor Manufacturing [YIMM] Yamaha Motor Manufacturing West Java [YMMW] n.a.	(1974年)	(Jakarta 東部 Pulogadung)	Mio, Jupiter Z, Vega-R/ZR, Scorpio-Z 等	143万台	ヤマハ 85%、三井物産 15%出資。2014年、スクータータイプ及びスポーツタイプの輸出を開始。
			2006年 (2004年)	(West Java 州 Karawang)	Vega-R/ZR, Jupiter Z, Mio 等	217万台	ヤマハ 100%出資。2010年に年産能力を157万台から217万台に引き上げた。投資額は90億円。
			n.a.	n.a.	n.a.	40万台 (予定)	2011年に新工場建設を発表したが、2012年8月に延期を表明。その後進展なし。
	スズキ	Suzuki Indomobil Motor [SIM]	1970年	二輪工場 (West Java 州 Bekasi)	Satria, Smash, Nex, Shooter, Hayate, Adress 等	150万台	スズキ 90%出資。ボディ関連部品も生産する。Cakung 工場 (East Jakarta) ではパワーレインを生産。2018年までに、3.9億米ドルを投じて生産体制を強化するとみられる。
	カワサキ	Kawasaki Motor Indonesia [KMI]	1995年 (1991年)	第1工場 (Jakarta)	Ninja 150 等	10万台	川崎重工 83%出資。カワサキはインドネシアを新興国市場モデルの生産拠点として重視。
			2014年 4月	第2工場 (West Java 州 Bekasi)	Ninja 250SL, KLX 150, D-Tracker 150 等	15万台	投資額は約60億円。タイやフィリピンに輸出しているほか、日本や欧米等先進国への輸出も視野に入れる。
Bajaj Auto	Bajaj Auto Indonesia	2007年 (2006年)	(West Java 州 Bekasi)	Pulsar, XCD 等	20万台	インド Bajaj Auto が 97.5%出資。	
TVS Motor	TVS Motor Company Indonesia	2007年 (2006年)	(West Java 州 Karawang)	Apache, Rockz, Neo 等	30万台	インド企業。マレーシア、ベトナム、タイなどに輸出する。	
光陽機車	Kymco Lippo Motor Indonesia	(1996年)	(West Java 州 Bekasi)	-	-	2010年に経営破綻し事業を終了。	
ベトナム	ホンダ	Honda Vietnam [HVN]	1997年 (1996年)	第1工場 (Vinh Phuc 省)	Wave RSX, Blade	100万台	ホンダ 70%出資。敷地面積 46万㎡、建屋面積 4.4万㎡。2013年に日本向け輸出開始。
			2008年	第2工場 (Vinh Phuc 省)	SH-mode, Lead, Blade, Air Blade, Dream, Vision、他	100万台	第1工場の敷地内に立地。建屋面積 6.9万㎡。
			2014年 11月	第3工場 (Ha Nam 省)	スクーター	50万台	敷地面積 27万㎡、建屋面積 5.1万㎡。投資額は約1.2億米ドル。2014年3月、車両に先駆け二輪車部品を生産開始。
	ヤマハ	Yamaha Motor Vietnam [YMVN]	1999年 (1998年)	(Hanoi 市)	Sirius	100万台	ヤマハ 46%出資。2008年に現工場を稼働、旧工場は部品工場に転換した。2010年に、年産70万台から100万台に増えた。
	スズキ	Vietnam Suzuki	1996年 (1995年)	(Dong Nai 省)	GN125, Viva FD、 110CSD	10万台	スズキ 100%出資。2006年に現工場を開所。四輪車と生産拠点を分離し、新設した現工場に二輪車の生産を移管した。
	Piaggio	Piaggio Vietnam	2009年	(Vinh Phuc 省)	Vespa 等 大型バイク(予定)	12万台	タイ、インドネシア、日本、中国、台湾などに輸出。生産台数に占める輸出向けの比率は4~5割程度である模様(2015年4月情報)。
	光陽機車	Kymco Vietnam	(2004年)	第1工場 (Ho Chi Minh 市)	Many, Candy, People 等	2万台	建屋面積 2.9万㎡。
			2015年 5月	第2工場 (Binh Duong 省)	Many S, K-Pipe 等	4万台	敷地面積 6万㎡。投資額 2,000万米ドル。ASEAN 及び欧州(ドイツ、フランス、イタリア)向けの輸出を計画。
三陽工業	Vietnam Manufacture & Export Processing [VMEP]	1992年	(Dong Nai 省)	VVB, VCA, VVD, VTH, VTB, VTC, VDD, VDE, KAS 等	20万台	三陽工業 100%出資。	

生産体制の再編や輸出強化で域内最適化が進展

Motorcycles

インドネシアでは、2014 年実施のホンダとカワサキの増産で、生産能力が全体で 1,000 万台を超えた模様。ホンダは、新設した第 4 工場で、2015 年末までにスポーツタイプ専用の生産ライン(年産 50 万台)を追加稼働する予定。不況下だが、今後の需要拡大が期待される車種への投資については進める方針。スズキは 2018 年ま

でに 3.9 億米ドルを投じて生産体制を強化する。

ベトナムでは、2014 年 11 月にホンダが年産能力 50 万台の第 3 工場を稼働、スクータータイプの生産を開始した。また、台湾メーカーの光陽機車(KYMCO)も、2015 年 5 月に第 2 工場を開所。ASEAN 域内の主要拠点として増産する方針である。(堀井)

【ASEAN、主要二輪車メーカーの生産拠点の概要】(つづき)

国	メーカー	現地製造会社 [略称]	稼働 (設立)	工場(所在地)	主な生産品目	生産能力	備考・動向
タイ	ホンダ	Thai Honda Manufacturing [THM]	1967 年 (1965 年)	(Bangkok)	Wave、PCX、Click、AirBlade、CBR150R/250R、Scoopy-i、CB500 等	170 万台	ホンダグループ 83%出資。ASEAN、日本、欧州、北米、オーストラリアなどに輸出。2012 年、グローバルモデル用の新ラインを稼働。2014 年、大型モデルを生産開始。
	ヤマハ	Thai Yamaha Motor [TYM]	(1964 年)	(Samutprakarn 県)	Nouvo、Mio、Fino、Spark、Fiore 等	55 万台	出資比率はヤマハ 91.2%。
	スズキ	Thai Suzuki Motor [TSM]	1968 年 (1967 年)	(Pathumthani 県)	Jelato、Shogun、Hayate、Step、Burgman 200 等	40 万台	スズキ 97.5%出資。2013 年、5 億パーツを投じて、年産能力を 40 万台に引き上げた。同年、中大型モデルを生産開始した。
	カワサキ	Kawasaki Motors Enterprise (Thailand) [KMT]	(1997 年)	(Rayong 県)	klx125、Z800、Ninja650、ER-6n、Ninja300/250、Z250	20 万台	カワサキ 100%出資。位置づけは明石工場に次ぐ第 2 の拠点。日本、北米、欧州に輸出もする。
	BMW	BMW Manufacturing (Thailand)	2014 年	(Rayong 県)	F800R、F800GS	100 台	2013 年内に二輪車生産ラインを設置し、2014 年第 1 四半期に F800R の組立を開始。
	Triumph	Triumph Motor Thailand	2006 年	(Chonburi 県)	n.a.	n.a.	2002 年に部品生産、2006 年に二輪車組立、2007 年に鋳造・機械加工をそれぞれ開始。
	JRD	JRD Bright Motor Industries	(2000 年)	(Songkhla 県)	JRD ブランド	14 万台	マレーシア企業。
	Tiger	Millennium Motors	(2000 年)	n.a.	Tiger ブランド	10 万台	タイ企業。中国の宗申からエンジンを輸入。Tiger ブランドで販売。
	Stallions	Power Stallions	(2010 年)	(Chonburi 県)	ミニバイク	1.2 万台	タイ企業。2014 年よりラオス、ベトナム向け輸出開始。
フィリピン	ホンダ	Honda Philippines [HP]	1983 年 (1983 年)	(Bantangas 州)	XRМ、CBF110、Wave100/110/125、BeAT、GL150、CGX125	50 万台	ホンダ 99.61%出資。2006 年に現工場(敷地面積 20 万㎡、建屋面積 4.2 万㎡)に移転し、生産能力を 30 万台から 50 万台に拡大。
	ヤマハ	Yamaha Motor Philippines [YMPH]	2009 年 (2007 年)	(Bantangas 州 Lima 工業団地)	Sniper、Mio 等	15 万台	ヤマハ 100%出資。2009 年に現工場に移転し、生産能力は 7 万台から 15 万台に拡大。これに伴う投資額は約 25 億円。
	スズキ	Suzuki Philippines [SPH]	1996 年 (1985 年)	(Laguna 県 Calamba 市)	Shogun、Smash、Skydrive、Hayate Thunder、Nex 等	20 万台	スズキ 100%出資。2012 年 6 月現工場を稼働し、旧工場(8.5 万台)から生産を移管。旧工場は閉鎖した。
	カワサキ	Kawasaki Motors (Philippines)	(1968 年)	(Muntinlupa)	Barako II、Fury125、KLX150	15 万台	1974 年にカワサキが出資参加。1996 年に関連会社化。中南米にも輸出。設備投資により、18 万台への増産を計画(時期等不明)。
マレーシア	ホンダ	Boon Siew Honda [BSH]	2009 年 (2008 年)	(Penang 州)	Dream110、Wave Dash、Wave 110、EX-5、Air Blade、Spacy、Future	30 万台	ホンダ 51%、Oriental Holdings 49%出資。2013 年、現工場(敷地面積 23.7 万㎡、建屋面積 4.4 万㎡)を稼働し能力増強。
	ヤマハ	Hong Leong Yamaha Motor [HLYM]	(1978 年)	(Selangor 州)	125ZR、135LC ES、Lagenda、Ego、他	25 万台	Hong Leong Industries との合弁。2011 年に年産能力を 18 万台から 25 万台に増強。
	スズキ	Suzuki Assemblers Malaysia [SAM]	(1971 年)	(Penang 州)	Shogun、Smash V115、Belang R 150、Smash Rev0、Nex 等	3 万台	Hicom、Silverstone との合弁会社。主な部品についてはタイから輸入する。
	カワサキ	Kawasaki Motors (Malaysia)	n.a.	(Selangor 州)	ER-6n、Z1000 等	2 万台	2015 年までに年産能力を 4 万台に引き上げる計画(2012 年 10 月発表)。
	Modenas	Motosikal Dan Enjin Nasional [MODENAS]	1996 年	(Kedah 州)	Kriss MRI、CT100 など	24 万台	DRB-Hicom と川崎重工が出資。輸出を行っており、仕向け先は 13 カ国(累計)。
	KTM	Motonation Manufacture	(2010 年)	(Kedah 州)	200 Duke、390 Duke、690 Duke、RC200、他	n.a.	オーストリア企業。2015 年 7 月、タイ向けに 200 Duke など 4 モデルを輸出開始。
カンボジア	ホンダ	委託	1998 年頃	(Phnom Penh)	Dream125	n.a.	タイ N.C.X. が出資する現地工場で組立開始。タイとベトナムから部品を調達する。2013 年時点の生産規模は年間 20 万台程度。
	ヤマハ	Yamaha Motor Cambodia [YMKH]	2008 年 (2008 年)	(Phnom Penh)	n.a.	n.a.	2007 年、豊田通商と現地企業との合弁 Asia Motors で委託生産開始。自社工場の新設を計画するも、2015 年までに実現していない。
	スズキ	Cambodia Suzuki Motor [CSM]	1999 年	(Kandal 州)	Viva、Smash 等	5 万台	スズキが 85%出資。現地 OMC。
ラオス	スズキ	Santiphab Suzuki Lao Factory	1991 年	(Vientiane)	n.a.	3,000 台	スズキが 19.5%出資。タイから部品を輸入し組立。

注)年産能力は 2015 年 9 月時点のもので、一部 FOURIN 推定を含む。

(各社広報資料、各種報道より作成)